

ふくしま便り

No 8

2017年4月28日発行

4月号

日本生協連
組合員活動部

九州から桜開花の便りが届きました。(記事と写真をご覧ください。)

富岡町の桜の名所から枝を採取して育て、昨年10月に移植したソメイヨシノです。

当時の地元紙では、この桜が開花するのは2020年ごろと

紹介されていました。何とも生命力を感じる、

そして希望あふれるうれしい便りです。



仮設住宅ふれあいサロンから ~エフコープ、生協ひろしまが訪問~

飯館村松川第2仮設住宅を4/13 エフコープ16名、4/21 生協ひろしま6名のみなさんが訪問しました。飯館村は、3/31に避難指示が解除されました。



4/13 仮設住宅の自治会長さん、住民の方との交流会の後、エフコープのみなさんから、「博多にわか」を披露していただきました。交流会では避難指示が解除されたとはいえ、厳しい現実には驚きの声が上がりましたが、楽しい芸に笑い声があふれました。



4/21 生協ひろしまのみなさんから、「広島のお好み焼き」を振舞っていただきました。今回で6回目の訪問になります。味付けはふくしま風に少し濃いめです。焼きたてのお好み焼きを楽しみに訪れた24名の方に食べていただきました。



全国各地で桜の植樹が行われました ~富岡町「夜の森さくらプロジェクト」~



桜を見て震災と原発事故の被災地を記憶に留めてもらうため、福島県農林種苗農業協同組合と富岡町では、今でも大部分の立ち入りが制限されている「夜の森桜並木」の桜を植樹する「夜の森さくらプロジェクト」を行っており、コープふくしまが協力しています。

2016年10月に福島県篠栗町にあるエフコープ研修センターに植樹したソメイヨシノが開花しました。他にもコープおきなわ、コープさが、ユーコープやまなしで植樹されています。



福島現状を知る 視察と学習会 ～3月度は、各地の生協を訪ねました～

【3月度・各地の生協を訪れコープふくしまの取り組みを報告しました】

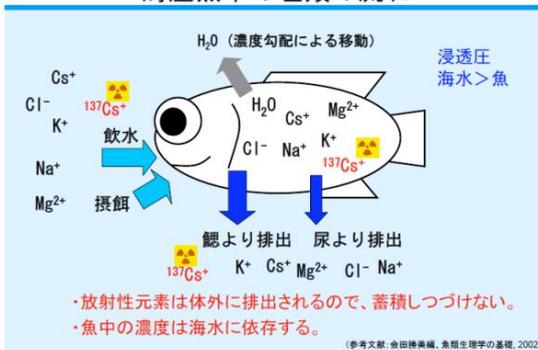
- 2/21 コープぎふを野中専務、有松理事が訪問しました。
- 3/3 コープおきなわを野中専務、山田理事、宮澤理事が訪問し、夜の森の桜植樹式に出席しました。
- 3/4 コープみえを斎藤理事、松崎課長と浪江町北幹線仮設住宅の松田さん、大越さんが訪問。松田さんが紙芝居「見えない雲の下で」を披露しました。
- 3/15 コープさがを穴戸常務、斎藤理事と富岡町緑ヶ丘仮設住宅の北崎自治会長が訪問しました。夜の森の桜植樹式に出席しました。
- 3/16 ユーコープやまなし県本部を野中専務、日野理事と富岡町三瓶さんが訪問しました。夜の森の桜植樹式に出席しました。
- 3/17 エフコープを穴戸常務、斎藤理事と富岡町緑ヶ丘仮設住宅の北崎自治会長が訪問しました。「復興支援全体報告会」に出席しました。
- 3/18 コープあいちを野中専務、日野理事と富岡町三瓶さんが訪問し、夜の森の桜植樹式に出席しました。



知っていますか？ ～ 海の状況と魚の検査 ② ～

(「JF 福島県漁連」「福島県水産試験場」の資料から)

海産魚中の塩類の流れ



魚の汚染源は、1) 海水（飲水）と 2) 餌（食餌）の 2 つですが、まず 1) 海水中の放射性セシウム濃度は、沖合では事故前の濃度に回復しつつあります。東電福島第一原発周辺の濃度も大きく低下し、1 ヶルル/ℓ を下回っています。魚の汚染は、海水濃度に対して、多くて 100 倍とされています。2) 摂取する餌についても汚染濃度の低下が確認されています。また、飼育試験から、元々餌からの取り込みは大きくないことが分かっています。

サロンに
おじゃま
しました!



4/13 避難指示解除から 2 週間が経った状況を、集会所管理人で村の臨時職員を務める佐藤美喜子さんからお話を伺いました。松川第 2 仮設は、ピーク時 109 世帯から現在は 50 世帯弱に減っています。避難以前のコミュニティを夢見て帰ってもお隣がいない、高齢者だけが帰還しているなど厳しい現実があります。一番必要な病院がなく近隣の市や町に頼らざるを得ない問題があります。佐藤さんは、帰った人を訪問して「決して忘れていない」というメッセージを送ることが大切と語られました。 -住吉-

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

住吉 小池